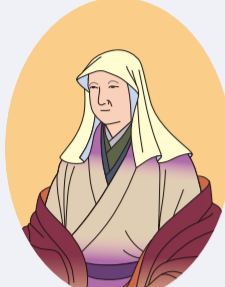


人物探訪



在原業平
825年～880年

平安時代初期の貴族・歌人で「伊勢物語」の主人公のモデルともいわれています。晩年を通じた大原野にはゆかりも多く、在原業平がかつての恋人・清和天皇の皇后藤原高子（たかひこ）の大原野神社参詣にお供した際に、大原や小塩の山もけふこそは神代のことも 思出づらめ という歌を詠みました。



桂昌院
1627年～1705年

徳川五代将軍綱吉の生母。「玉の輿」の語源になった人物と言われています。仏教信仰が厚く、応仁・文明の乱の被害を受けた善峯寺をはじめ、金蔵寺、今宮神社、南禅院、乙訓寺、清涼寺、真如堂、奈良の春日大社等、多くの社寺に莫大な寄進をし、再興に貢献しました。

正法寺
(しょうぼうじ)



通称「石の寺」。徳川将軍家の祈願所となったことから、徳川氏関連の古文書が多数所蔵されています。動物の形に見立てた石が配置された庭園「鳥獣の庭」や、借景庭園も見所です。

金蔵寺
(こんぞうじ)



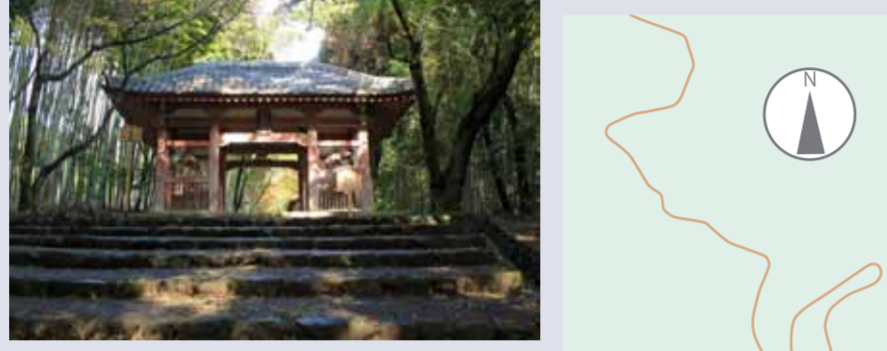
小塩山の中腹にある静かな山寺。紅葉の隠れた名所として秋には多くの参詣者が訪れます。寺は戦乱によって幾度となく焼失しましたが、桂昌院によって再建されました。



▲金蔵寺の見晴らし台から京都市内を一望できます。



勝持寺仁王門
(しょうじにおうもん)



応仁・文明の乱から唯一焼失を免れた勝持寺の仁王門。仁王像は元々近くにある願徳寺にあったもので、本来の仁王像は収蔵庫で保管されています。

勝持寺
(しょうじ)



平安時代の歌僧、西行法師ゆかりの通称「花の寺」。自ら植えたといわれる八重桜「西行桜」を始め、境内には数百本の桜の木が植えられています。



願徳寺
(がんとくじ)

徳のある願いによって建てられた寺院ということで「願徳寺」と名付けられました。国宝の如意輪観音菩薩半跏像が安置されています。



大原野神社
(おおはらのじんじゃ)

清和天皇産湯の清水とも伝わる「瀬和井(せがい)」。しばしば和歌に詠まれた名水で、大伴家持が愛飲したと伝えられています。

願徳寺
(がんとくじ)



奈良の猿沢の池を模して文徳天皇が造ったといわれる「猿沢の池」



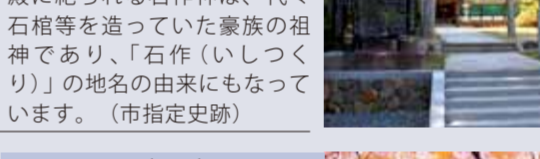
大原野

金蔵寺に向かう東海自然歩道から見る棚田



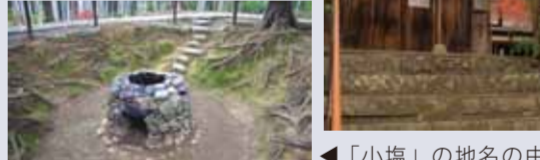
古墳公園
(こふんこうえん)

約100m北の地点で発見された下西代2号墳が移築復元されています。約1400年前に造られた古墳で、玄室内に小石室を設けた特殊な構造となっており、当時の葬り方がわかる貴重な資料として現在は古墳公園になっています。



大歳神社
(おおとしじんじゃ)

祭神は大歳神で農耕生産の神として信仰されています。相殿に祀られる石作神は、代々石棺等を造っていた豪族の祖神であり、「石作(いしつくり)」の地名の由来にもなっています。(市指定史跡)



十輪寺
(じゅうりんじ)

通称「なりひら寺」とも呼ばれる平安時代の歌人、在原業平ゆかりの寺。晩年の閑居跡といわれ、業平の墓と伝わる宝篋印塔や塩竈があります。命日にあたる5月28日には、業平を偲ぶ「業平忌三弦法要」が行われます。



三鈷寺
(さんこじ)

西山宗の総本山で、名前は背後の山の三峰が仏具の三鈷に似ていることに由来します。寺宝も多数あり、客殿からは京洛一円の景色が見渡せます。

大原野には古墳、窯跡、寺跡などの遺跡があり、土の中から当時の遺構が掘り出されています。また、藤原氏、在原業平や西行法師ゆかりの社寺もあり、徳川五代将軍綱吉の母、桂昌院が大きく寄与したお寺も山腹にあり、その風光明媚さは有名です。大原野の古代につながる社寺や古墳、東海自然歩道、歴史にゆかりのある社寺を雰囲気のある道筋でご案内します。それぞれの体力に応じてルートを分割し、風景を楽しみながら大原野を味わってください。

おすすめルートのご案内



東海自然歩道
東京都八王子市の「明治の森高尾国定公園」から大阪府箕面市の「明治の森箕面国定公園」までの長さ1,697kmの長距離自然歩道。案内板や道しるべ等が整備され、緑豊かな自然と歴史、文化財に触れ親しむための自然散策ルートです。



善峯寺
(よしみねでら)



▲樹齢600年の五葉松は「遊龍の松」の名で呼ばれ、国の天然記念物に指定されています。



▲三鈷寺客殿からの眺望



▲約3万坪の広さを誇る見晴らしの良い境内からは、東山連峰や京都市内を一望するパノラマが広がります。

5 大原野



～文化財と遺跡を歩く～ 京都歴史散策マップ



発行 京都市・(財)京都市埋蔵文化財研究所

大原野周辺の発掘調査

京都市西京区大原野の一带は、長岡京遷都を機に開発された遊獵地で、桓武天皇から陽成天皇の...

※1 皇后・皇太后・皇太子・皇太子妃の外出のこと。

1 勝持寺日境内

勝持寺の歴史は古く、寺伝では延暦10年(791)年に桓武天皇の勅を受けて最澄が再建したとされ、寺所有の絵図によれば、中世には49の子院が建ち並んでいた様子がかがわれます。



2 南春日町廃寺

大原野小学校の北約300mで昭和55年グランド造成中に偶然瓦がみつき、発掘調査により塔跡が発見されました。



5 下西代2号墳

下西代2号墳は下西代1号墳の東50mの水田直下でみつかりました。墳丘は水田の畦(あぜ)の形状なども考慮し、直径20mの円墳と推定できます。

※3 羨道が玄室の中央に付けられているものを「両袖式」、左右どちらかに片寄ってつけられているものを「片袖式」という。



6 灰方古墳群1・4号墳

大蔵神社から南に200mほど下がった地点で、市道大原野道の拡幅工事に伴って立会調査が実施されました。



3 南春日下西代遺跡(鎌倉時代～室町時代)

大原野神社の南東約700mの地点、小学名の下西代地区、地元では下社家と伝承されている場所で鎌倉時代から室町時代の建物4棟や井戸跡4基が発見されました。



7 灰方窯跡1・2号窯

灰方古墳群から南に約400m、府道向日・善峰線の南側山中で発見された窯跡です。1号窯(写真上)は尾根の東斜面に、2号窯(写真下)は1号窯の北西40mの北斜面に構築されていました。



4 大原野松本遺跡(奈良時代)

大原野小学校から東へ約300mの地点で農業土地改良事業が実施されるため、平成8年に一帯が発掘調査されました。



※2 日本の古代律令制度の下で、郡の官人(郡司)が政務を執った役所

大原野エリアの発掘調査地分布図



資料提供: 財団法人京都市埋蔵文化財研究所



京都市考古資料館

大正3年に本野精吾の設計で建てられた旧西陣織物館を内部改修し、京都市内の発掘調査・研究の業績を発表・展示するため昭和54年11月に設立されました。

〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町 265-1 TEL. 075-432-3245 FAX. 075-431-3307 http://www.kyoto-arc.or.jp/museum/

入館無料・月曜休館(月曜が祝日の場合は翌日) 開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)

JR京都駅より地下鉄烏丸線 今出川駅下車徒歩15分 市バス201・203・59系統 今出川大宮下車すぐ

